

施工管理の仕事から見る 高校生活で意識したいこと

— 社会人として成長していく上で —



施工管理の仕事について

建設現場で工事全体を取りまとめ、管理することが主な業務です。

工程管理

工事をする技術者の人数や作業内容の状況、進み具合をチェックします。

原価管理

掛かる経費を抑え、利益を生み出し、予算オーバーの工事にならないようにします。



品質管理

使用する材料や作業の品質が規格通りに保たれているかをチェックします。

安全管理

現場の安全を確保するとともに、作業が円滑に進むようマネジメントします。

施工管理に求められる力

施工管理における主な業務から「求められる資質・能力」を考えます。



施工管理に必要な
資質・能力

論理的思考力

- ・問題の分析、原因を究明し解決策を探る
- ・物事を分かりやすく説明する

想像力

- ・固定観念にとらわれず、柔軟な発想をする
- ・想定外の事象を予測する

コミュニケーション能力

- ・意思や感情、思考を伝達し合う
- ・相手の気持ちに共感し、配慮する

「論理的思考力」「想像力」「コミュニケーション能力」は、施工管理に限ったものだけではなく、社会人として必要な資質・能力でもあります。職種や業種に関わらず求められるこれらの力を、**高校生活で高めておく**ことが大切です。

高校生活で高める

施工管理に必要な資質・能力を、高校生活で「高める」「高まる」場面を考えます。

<h3>論理的思考力</h3> <p>授業、論作文</p>	<h3>想像力</h3> <p>読書、調べ学習</p>	<h3>コミュニケーション能力</h3> <p>委員会活動、部活動</p>
-------------------------------	-----------------------------	---------------------------------------

(※一例)

学校生活には、「論理的思考力」「想像力」「コミュニケーション能力」を高めるための様々な場面があります。今の自分を振り返り、改めて何かを**意識して生活する**ことが大切です。

自分に目を向けて

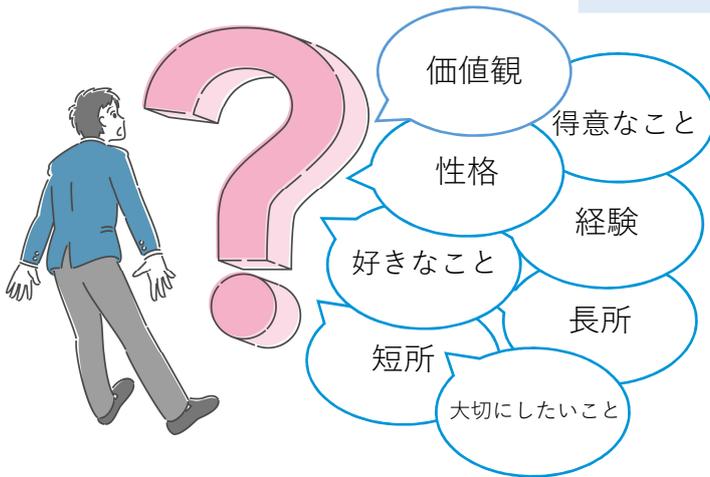
自分の性格や行動を振り返って、あなたにしかない「らしさ」や「価値」を探してみよう。



- 規格やルールを守るためには、理論や手順が根拠になります。理屈があるということは多くの事柄を**知っている**という裏付けです。
- 安全意識を高めるためには広い視野をもって、作業現場の様々なことに目が届き、**気付く**人が信頼されます。
- 施工管理においては、お客様や協力会社の方など関わる全ての場面で**コミュニケーション**能力は必須の力です。

強みの「芽」は？

様々な観点から自分を見つめることで、社会人として成長するための「芽」を探します。



強み

「自分にしかできないこと」
×
「個性（らしさ）」

将来、社会人として活躍するためには、今の自分と向き合い「自分にしかできないこと」や「個性」「自分らしさ」を見付け、育てることも大切なことです。

芽を育てる

強みの芽を育て、自分が誇れるものに変えるための心のもちよう（マインドセット）を考えます。

オーナーシップ
(当事者意識)



「なぜ？」を
繰り返す

アイデアをもつ

オーナーシップ（当事者意識）

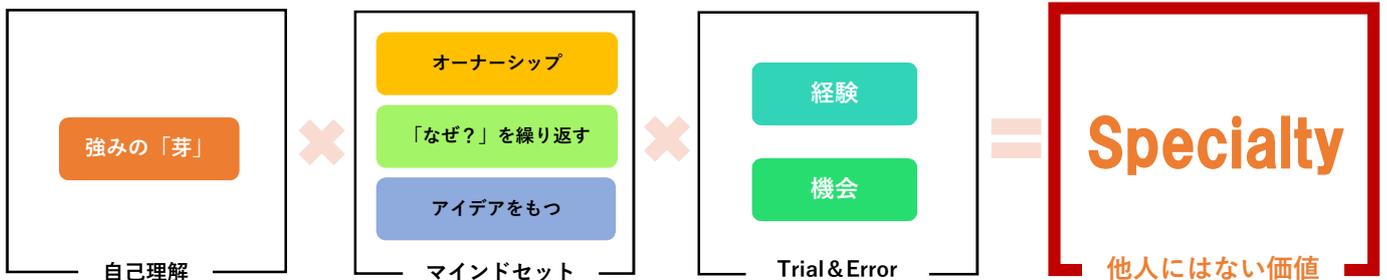
- ・自分が何をしたいか、どうしたいか、どうありたいかを大事にする

「なぜ？」を繰り返す

- ・問題や課題を深掘りして、その真因を突き止める

アイデアをもつ

- ・〇〇をしたい、〇〇を変えたい、という観点で物事を見る



学校の中では人と違ったり、失敗をしたりすると不安になることがあると思います。しかし、自分らしさを見付けて育て、「これがあるから大丈夫！」と自信がもてたら、そのような不安も一蹴できます。社会へ羽ばたくため、自分の強みを今から、ここから育ててみよう！

そこんどこ、どう？

現役の施工管理技士の方に、ちょっと気になるところをあれこれ聞いちゃいました。

Q. 施工管理の仕事の「やりがい」や「やっていてよかった」と思える瞬間はありますか？

A. 上手くいって当たり前の仕事なので、厳しいことのほうが多いですが、トラブルの時に現場へ急行して「ありがとうございます」と感謝されると、「続けてよかったな」と素直に思いますよ。

Q. 高校生のときに何か意識して生活していたことはありますか？

A. う〜ん、正直、あまりこれっていうのはないです。本当、普通に部活動をやったり、クラスの友達と話したり、遊んだりっていうことをしてただけで…。でも、そういう特に意識していないことから、コミュニケーション能力が身に付いたのかもしれないですね。運動部に限らず、部活動は人間関係を学べる場なので、やっておいて損はないと思います。

Q. お客様に説明するときに、規格や法律が大事になってきますよね？

A. 事あるごとに「根拠は？」って言われますからね。正しく、分かりやすく、丁寧に説明できるスキルはあるに越したことはないと思います。

Q. 安全管理には「あるかも」や「起きるかも」という発想はすごく大事だと思うのですが？

A. 仕事を始めてからは本を読んだり、ラジオを聞いたりする機会が増えたので、イメージする力が付いたのかも知れないです。学生るときからそういう習慣があればよかったのかな、とは思いますがね。

Q. 社会人になるにあたって、今から準備しておけるものは何かありますか？

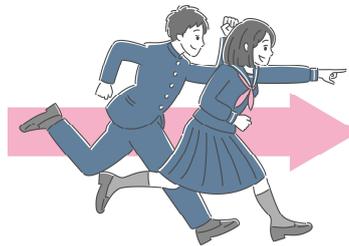
A. 仲間ですね。自分が本当に困ったとき、進んで助けてくれる仲間をもっておくべきですよ。

いかり

錨を上げろ、 ほ帆を張れ！

船が前進するためには、自ら動き出さなくてはなりません。人も同じではないでしょうか。

船が錨を上げ、帆に風を受けて動き出すように、自分から何かを始めることができる人には**推進力**が生まれます。



始動人

「自分の頭で考え、他人が目指さない領域で動き出し、生き抜く力を持つ人」のこと。

研修先企業の紹介



所在地	群馬県前橋市古市町118
設立（創業）	昭和21年7月（昭和20年10月）
資本金	50億円
従業員数	1,102名（連結）（令和4年3月現在）
高校生採用実績	10名（令和4年度）
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場
事業内容	建築・土木、空調・衛生、冷凍・冷蔵、上下水道・水処理・温浴に関する設計・施工・管理に関する事業



ヤマトの仕事のテーマは、**人と地球を笑顔**にしていこう。

地球温暖化の進行や異常気象の頻発、限りある天然資源の枯渇が懸念される現代。ヤマトは常に、地球環境にやさしい建築や設備を提案しています。